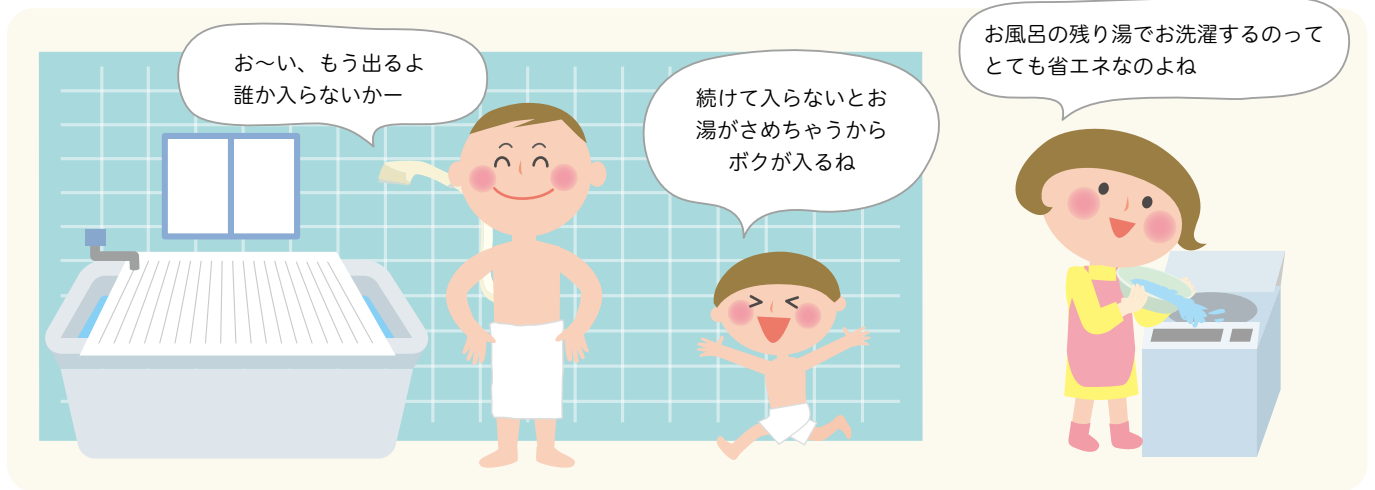


家庭でできる省エネ

バス・トイレ・洗濯編

バスルーム・トイレ・洗濯



ここが省エネポイント 【数値は年間】

① こまめにシャワーを止める

45°Cのお湯を流す時間を1分間短縮した場合

② お風呂は間隔をあげずに続けて入る

2時間放置により4.5°C低下した湯(200ℓ)を追い炊きする場合(1回/日)

③ 温水洗浄便座の設定温度を低くする

便座の設定温度を一段階下げた(中→弱)場合(貯湯式)
(冷房期間は便座暖房をOFFにしています)

④ 使わないときは温水洗浄便座のフタを閉める

温水洗浄便座のフタを閉めた場合と、開けっぱなしの場合との比較(貯湯式)

⑤ 洗濯物はまとめて洗う

定格容量(洗濯・脱水容量:6kg)の4割を入れて毎日洗う場合と、8割を入れて2日に1回洗う場合との比較

| 省エネ効果 kWhなど | 家計のオトク ¥ | CO ₂ 削減量 CO ₂ |
|----------------|-------------|--|
| ガス12.73㎡ | 2,877円 | 28.4kg |
| ガス38.20㎡ | 8,633円 | 85.2kg |
| 26.4kWh | 599円 | 15.4kg |
| 34.9kWh | 792円 | 20.4kg |
| 5.88kWh | 133円 | 3.4kg |

出典:「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬」資源エネルギー庁



暮らしのコツ

給湯器(風呂)

水を沸かすより、お湯を張った方が省エネ
浴槽に水をためて沸かすよりも、お湯をためる方が省エネです。

手元スイッチつきシャワーヘッドに交換

こまめにシャワーを止めることができます。少ない水量でシャワー感を損なわない節水シャワーヘッドもおすすめです。

トイレ

節電機能を活用しましょう

温水洗浄便座は便座や洗浄水を温め続けています。製品によっては、「おまかせ節電モード」など、使用頻度や時間を記憶して、使わない時間帯に便座暖房などの温度を自動で下げたりする機能があるものがあります。

